



# 「活着ていることわざ」

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712  
 ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>  
 Eメール [hiroei@muc.biglobe.ne.jp](mailto:hiroei@muc.biglobe.ne.jp)

## 上意下達 (じょういげだつ) ・ 抱腹絶倒 (ほうふくぜつとう)

【上意下達】◇支配者や上に立つ者の考えや命令を下の者に告げて従わせる。

【抱腹絶倒】◇大笑いをする事。笑い転げる事。

・腹を抱え、ひっくり返って笑うの意。本来は「捧腹絶倒」

緑が日増しに濃くなり春から夏への気配が感じられます。5月は議会が閉会中ですが、水面下では6月議会(27日開会)に向けて様々な動きがあります。また、今年は私たち市民にとって今後の4年間を託す「船橋市長選挙」が6月19日に行われます。派手さはありませんが、真面目にかつ着実に8年間歩んでこられ、3選出馬の藤代孝七市長を与党の一人として精一杯応援します。

4月30日に「市議会だより」が発行されました。お気づきになられたと思いますが、全面カラーで、文字が大きくなり見やすくなったと思います。私は2年間、広報編集委員会の副委員長として、このような紙面作りを積極的に提案してようやく実現しました。全面カラー仕上げといっても印刷費は以前とほとんど変わりません。この変化は目立ちませんが私は充実感に浸っています。「ここが聞きたい」欄は、会派で大きさが決まっています、私が所属する新風は7人が質問しましたので、一人あたりのスペースが少ないのが残念です。

そこで、今号は私が質問した全体の概略を掲載します。

### ①有価物一元化・530推進員への助成金について

以前は子供会・PTA・町会等がバラバラに有価物回収を行っていましたが、平成7年に市内で31の「有価物連絡会」を作り「有価物回収の一元化」がなされました。それにより有価物や資源ゴミを毎週回収し、1kgあたり6円の報奨金(現在は協力金と名称変更し1kgあたり3円)が有価物連絡会に交付されています。



その協力金の分配割合が、PTAに0%50%60%70%80%100%があり、町会や地区連には0%20%40%60%と地域によって全く違うのです。

担当課として当初どのように指導し、その後検証したのか伺いました。また、市から委嘱されている530推進員に助成金が無いが、活動資金として助成金を出せないかと質問しました。



《回答》分配方法は、各有価物連絡会内部で決定してもらいたい。クリーン推進課の環境指導員が会合に出席し運営状況の把握に努めている。助成金は有価物連絡会への協力金の一部を役立ててもらえるよう関係団体と協議していく。

### ②地区社会福祉協議会（地区社協）への助成金について



地区社協の事業のひとつに「ミニディサービス」があります。この事業は、介護保険の適用にならないが、日中、ひとり暮らしをしている虚弱高齢者等に対して、お茶会や軽スポーツ等をしながら仲間づくりをしていこう、というのですが、地区社協の中には「65歳以上のどなたでも先着順に受け付けます。お誘い合わせのうえ申し込みください」という案内をしているところがあります。このような目的外の事業に補助金を使っているのか、質問しました。

《回答》それだと事業の趣旨に反するので、早急に確認し、事実であれば補助金を清算する際に減額の対象になる。

※補助金は年度初めに計画案を提出すると先に振り込まれ清算する方法です。

### ③調整池の有効活用について

習志野台にあるアリーナの駐車場や広場は、調整池の上に設置しています。ここは水が入っていますが、貯水されていない比較的大きな調整池に少し手を加えて、少年野球やテニスコート、グラウンドゴルフに活用できないか、質問しました。具体的には、薬円台第一調整池と田喜野井第一調整池です。コンクリート床に土を入れると水で流されてしまうので、人工芝を張ればいいと主張しました。



《回答》関係の部課と前向きに検討していく。

### ④「ゆとり教育」について

- ・「朝令暮改」で振り回される子供達こそいい迷惑
- ・文部科学省の『上意下達』に是々非々の対応ができる船橋市教育委員会になれないか



「ゆとり」は子供達の時間的・精神的な「ゆとり」ではなく、先生方が欲しい「ゆとり」ではないのか。また、世界各国の子供達の学力調査が行われ、日本の子供達が軒並み順位を下げると「ゆとり教育」を是正しようと動いています。私は「ゆとり教育」の目指すものは、学力第一主義ではなく、豊かな心を育む「心の教育」だったのではないかと意見を述べたあと、授業時間が足りなく「2期制」にしたというが、夏休みを前後で5～6日短縮すれば十分に時間

に余裕があるのではないかと質問しました。

《回答》試行的にそのようにした学校の意見は、高温多湿のため子供達の学習環境には不向きだったので、夏休みを短縮することは難しい。

と、『抱腹絶倒』の回答でした。もちろんこの回答には反論しました。